

『甲斐市民対話集会』会議録

日時：平成 25 年 7 月 10 日（水）午後 7 時～8 時

会場：竜王三区公会堂

参加者：本竜王地区自治会合同会議（竜王一区～四区）の区民 28 名

傍聴者：3 名（市議会議員）

対応者：保坂市長、土屋副市長、加々美教育長

テーマ担当者：金丸教育部長、小林教育総務課長、飯室学校教育課長、藤本生涯学習文化課長、望月スポーツ振興課長、湯本図書館長、興石指導監

事務局：小田切企画政策部長、有泉秘書政策課長、長田総合政策係長、小澤、古屋

○当番区長あいさつ

4 年前も創甲斐教育について勉強をしたが、役員も代わっておりもう一度地域とのかかわりについて勉強したい。

○市長あいさつ

- ・チャレンジデーについてはご協力をいただき勝利できた。ラジオ体操の取組みなどを通じ、甲斐市が元気であると見てもらえた。来年度も協力をお願いしたい。
- ・信玄堤に太白桜の並木をつくるということで、20 本ほど三社神社から信玄橋の方へ植えた。
- ・信玄堤公園の駐車場を改修し、大型バスを止められるようにする。
- ・中部横断道の進捗状況について、丸 4 年くらいかかるが、完成すれば信玄堤にも観光客が来ると思われる。
- ・竜王北中学校吹奏楽部は関東大会出場など頑張っているので今年ユニフォームを購入する。
- ・オレオレ振り込め詐欺の被害が発生したので、引き続き啓蒙活動を行いたい。
- ・創甲斐教育については「字を上手に書く」「表現力をつける」「2.5m 泳げるようになる」を初めに考え、創甲斐教育大綱を作成した。

○創甲斐教育について

教育総務課長、創甲斐教育大綱により説明

○質疑等

問：不登校率の改善にはどのような取組みをしたのか。

回：学校行事を通じて喜びを分かち合える仲間を作る絆作りや、わかりやすい授業を行う居場所作りで来なくなる学校を作る。具体的には、1 日休んだら電話連絡、2 日休んだら家庭訪問、月 3 日以上休んだら担任だけでなく学校全体で対応するなどしている。

問：不登校率を 1.41%に削減する目標については、不登校はゼロにするのが目標ではないか。

回：最終的な目標はゼロであるが、教育は人間対人間の関係なのでゼロになるとは限らない。統計的な数値目標として理解して欲しい。

問：いじめに対してはどんな現状でどんな対応をしているか。

回：早期発見・早期対応をして重篤化させないために、各学期末にアンケートをとり生徒一人一人と面談をして、いじめの兆候が無いか確認している。

アンケートでは小学校で49件、中学校で129件の報告があったが、その都度対応し人権を侵害するような過度のいじめは無い。

問：市内3館の図書館で蔵書が重複している場合がある。

回：ベストセラーは予約も多いのでそれぞれの図書館で購入する場合がある。また、合併前からの蔵書は重複する場合があるが、現在は資料収集計画に基づき、各図書館で地域性をもって購入している。

問：竜王南小の取組みが新聞で紹介されたが、学校ごとに良い取組みで競争させてはどうか。

回：良い取組みについては、学校のホームページで紹介したり、毎月市内16校の校長による定例会を行い、情報交換を行っている。竜王南小の取組みは類似の取組みを竜王西小でも取り入れている。

市長：命や歴史を大切にする教育も必要と思っている。

区長：創甲斐教育の基本が理解でき有意義であったが、地域との係わりについてもっと突っ込んだ対話が必要と感じた。今後も連携をとりながら頑張りたいと思う。